

ネイティブ微生物プリンヌクレオシドホスホリラーゼ

Cat. No. DIA-216

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、プリンヌクレオシドホスホリラーゼ (EC 2.4.2.1) は、次の化学反応を触媒する酵素です: プリンヌクレオシド + リン酸 \leftrightarrow プリン + α -D-リボース 1-リン酸。したがって、この酵素の二つの基質はプリンヌクレオシドとリン酸であり、二つの生成物はプリンと α -D-リボース 1-リン酸です。この酵素は、糖転移酵素のファミリーに属し、特にペントシル転移酵素に分類されます。

用途 この酵素は、キサンチンオキシダーゼおよびウリカーゼと結合した際に、無機リン、5'-ヌクレオチダーゼおよびアデノシンデアミナーゼの酵素的測定に有用です。

別名 EC 2.4.2.1; イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシド: リン酸リボシルトランスフェラーゼ

製品情報

由来	微生物
外形	白色の非晶質粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 2.4.2.1
CAS登録番号	9030-21-1
分子量	approx. 120 kDa
活性	グレード III 15U/mg-固体以上
混入物	カタラーゼ < 20% 5'-ヌクレオシダーゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$ アデノシンデアミナーゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$ ATPアーゼ < $1.0 \times 10^{-2}\%$
等電点	4.1 \pm 0.1
pH安定性	pH 6.0-9.0 (30°C, 16時間)
最適pH	7.5-8.0
熱安定性	60°C未満 (pH 7.7、30分)
最適温度	65°C
ミカエリス定数	6.4×10^{-5} M (イノシン)、 3.2×10^{-4} M (ピロリン酸)
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート, SDS, Hg ⁺⁺ , Ag ⁺
安定化剤	K-グルコン酸塩、マニトール、EDTA

保管・発送情報

安定性 -20°Cで少なくとも12ヶ月間安定しています